

未 来 の た め に …  
こ ど も た ち の

# ファミリーマート ありがとうの<sup>でがみ</sup>声 手紙コンテスト

最優秀作品賞  
～ 2017 ～

受賞作品集

## ご報告にあたって

この度は、『ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト2017』に作品応募をいただき、誠にありがとうございました。

本コンテストは、未来を担うこどもたちの豊かな心を育て、感謝の気持ちを大切に、『ありがとう』という言葉をもっと素直に言える人へと成長していただくことを目的に2009年より実施しております。

9回目を数える今回は、全国から34,102通のご応募をいただきました。

こどもたちが生活の中で感じたたくさんの『ありがとう』を表現した作品の数々を拝見しますと、普段はなかなか伝えられない感謝の気持ちを手紙というかたちで、考え、伝えるきっかけとして、この取り組みがお役に立てたことを大変うれしく思っております。

本作品集は『最優秀作品賞』に選ばれた21作品のご紹介を中心に構成しております。こころあたたまる手紙のひとつひとつをお読みいただければ幸いです。

次年度、本コンテストは10回目を迎えることとなります。長年に渡り、授業の一環として、あるいは夏休みの宿題としてご利用いただいたことを先生方、保護者の皆さまをはじめ関係各位に深く感謝いたしますとともに、この活動の社会的意義が年を重ねるごとに高まっていることに身の引き締まる思いです。

『ありがとう』という言葉は、感謝を伝えるだけでなく、伝えられた人を幸せな気持ちにしてくれます。本コンテストを通じて、このすばらしい言葉がそれぞれの地域でたくさん行き交うことを切に願い、今後も主催してまいりたいと存じます。次回もたくさんのご応募を心よりお待ちしております。

平成 30年 1月 吉日

株式会社 ファミリーマート  
代表取締役社長 澤田 貴司

# ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト2017

今年度9回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国19,943校・639万児童に向けてご案内し、結果6月1日から9月30日の約4か月の間で、応募総数34,102通にも上るころあたたまる作品をいただきました。甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全21作品、審査員特別賞全35作品、学校・団体賞全7校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。  
(<http://www.family.co.jp/arigatou2017>)

- 最優秀作品賞受賞作品紹介…………… 4
- 審査員特別賞受賞作品紹介…………… 25
- 学校・団体賞受賞校・団体紹介…………… 32

## こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」について、代表的な活動事例をご紹介します。これらの次世代を育成するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、より良い将来を応援していきます。

- その他の活動…………… 33

## 実施概要

- 主催** 株式会社 ファミリーマート
- 後援** 全国連合小学校長会  
全国市町村教育委員会連合会  
全国小学校国語教育研究会  
全国小学校道徳教育研究会  
全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会  
生活科教育研究会  
社団法人 日本家庭生活研究協会  
株式会社 教育新聞社

- 応募期間** 平成29年6月1日(木)～9月30日(土)
- 応募資格** 小学校1年生～6年生
- 審査** 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定
- 最優秀作品賞** 低学年部門(1・2年生) 各ブロック1名 合計7名  
中学年部門(3・4年生) 各ブロック1名 合計7名  
高学年部門(5・6年生) 各ブロック1名 合計7名  
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施
- 審査員特別賞** 各ブロック5名 合計35名
- 学校・団体賞** 各ブロック1校・団体 合計7校・団体
- 最終審査会** 平成29年12月5日(火)
- 応募総数** 34,102通

# 審査員講評



ジャーナリスト  
**池上 彰**

審査員  
長

今年で9回目を迎えた「ありがとうの手紙コンテスト」。工夫をこらした書き出しだったり、きめ細かい描写があったりと、子どもたちの文章力が回を重ねるごとに向上しているのを感じます。このコンテストを機に、子どもたちは「ありがとう」を伝えたい人のことを一生懸命考えたと思います。そのなかで、自分一人で生きているのではなく、まわりの人たちに支えられて生きていることに気づいたのでしょう。だからこそ、子どもたちの心からの「ありがとう」が作品に表れているのだと思います。勇気を出して「ありがとう」と言ったら、相手からも「ありがとう」の言葉が返ってきてお互いにうれしくなる。「ありがとう」は、まさに魔法の言葉です。このコンテストは来年10回目を迎えますが、さらにたくさんの子どもたちが応募してくれることを期待しています。



審査員

児童文学作家  
**こやま 峰子**

審査をしていて感じるのは、子どもたちは社会のことを本当によく見て、理解しているということです。例えば、今回の作品の中に、訪問看護師さんへ宛てた手紙があり、大好きなおじいちゃんの家で過ごしたのは訪問看護師さんたちのおかげですと書かれていました。そうしたさまざまな人のサポートがあって私たちは生きているということを理解し、感謝の気持ちを表現できるのは素晴らしいことだと思います。このコンテストを機に、たくさんの子どもたちが自分を取り巻く人やランドセルなどのモノに関心をもち、感謝の気持ちを言葉で伝えることの大切さを感じてくれることを願っています。



審査員

株式会社 小峰書店  
代表取締役社長

**小峰 紀雄**

子どもたちの作品から感じられるのは、子どもたちがけなげに一生懸命生きている姿です。「ありがとう」という言葉は、その子が生きる意味を発見し、成長の糧になる命の言葉です。子どもたちが手紙に書くテーマは、父母、祖父母、兄弟、友達、先生、地域の人たち、動物、自然、モノなど多様です。これらのテーマについて「ありがとう」をキーワードにして書くことにより、子どもたちは生きることの意味を考え、発見し、明日に向かって生きる励みにしようとしています。このコンテストがさらに広がり、たくさんの子どもたちが応募してくれることを期待しています。



審査員

日本ベンクラブ常務理事  
日本国際児童図書評議会副会長

**野上 暁**

近年、子どもたちの読む力・書く力の低下が懸念されていますが、「ありがとうの手紙コンテスト」の審査員として作品を読んでいると、子どもたちが身の回りのことを本当によく観察し、じっくりと考え、そして自分の思いを文章でしっかりと表現する力をもっていることがわかり、とてもうれしくなります。また、表現スタイルに工夫をこらしたり、インパクトのあるイラストを配したり、どの作品にも新しいアイデアや仕掛けが施されていることに驚きと感動を覚えます。回数を重ねるごとに作品のレベルが向上していく「ありがとうの手紙コンテスト」の今後がますます楽しみです。



審査員

株式会社ファミリーマート  
取締役 常務執行役員

**久保 勲**

第9回を迎えた「ありがとうの手紙コンテスト」に全国から34,102通もの応募をいただき誠にありがとうございました。今回初めて審査員を務めさせていただきましたが、子どもたちの優れた文章力に驚きと感銘を受けました。ひとりひとりが生きている、生かされていることに対し、感謝の気持ちを素直に伝えることはとても大切です。このコンテストは来年第10回目を迎えます。これからも子どもたちが周りの人や社会、自然や物に対して感謝の気持ちを持ち続けてもらえるきっかけとなるよう、このコンテストを続けていきたいと考えております。

# な お子先生へ

な お子先生、お元気ですか？おなかの赤ちゃんも元気ですか？わたしは、楽しい夏休みをすごしています。

2年生になって、たんにいっちなお先生がおくって、学校に行くのがいやになりました。学校のことを考えるとなみたっかたくさんでました。ごめんなさい。

お母さんが、そのことを先生と話ししてくれました。先生も、わたしとたくさん話ししてくれました。たくさん話しているうちに、わたしは、な お子先生が大すきになりました。

な お子先生、まいあ校もんで、わたしをまっいてくれてありがとう。先生があらってあたまをなでしてくれるのが、すごうれしかったよ。がんばりカード、ありがとう。カードにごほうびツールをはるのが、あごく楽し

みたったよ。きゅうしよくのセタセツリー、先生のぶんもたでちやってごめんね。1学年、旧も休ま

ないで学校に行けたのは、先生のおかげです。本当にありがとう。な お子先生にも、がんばりカードをプレゼントします。元気な赤ちゃんが生まれたら、先生にごほうびツールをあげます。赤ちゃんといっしょにあいに来てくだささい。2組のみんながまっいています。

まつ林 めいより

な お子先生がんばりカード

げんじな赤ちゃんが生まれたらごほうびツールをゲット!



低学年の部

最優秀作品賞

まつばやし めい  
松林 愛依さん(2年)

会津若松市立一箕小学校

審査員から



担任の先生との思い出が丹念に描かれている。先生からもらった「がんばりカード」をお返しにプレゼントしているのも愛らしい。

ありがと

## 2年1組だったみんなへ

わたしがこっせった時、たくさんたすけてくれて  
ありがとう。

毎朝、しょうこう口から教室までランドセルを持ってくれたこと、  
給食を運んでくれたこと、トイレの前で松ばづえをあずかってく  
れたこと、せんぷいせんぷいせんぷいうれしかったよ。  
じつはわたしね、こっせった日、びょういんで大声で泣いたんだ。

足がじんじんいたむし、動かせなくなっちゃったし、ずっと楽しみにしていた  
校外学習にも行けなくなっちゃって、くやしくてからかりして、かなしい  
なみだか止まらなかったよ。たけど、そのつぎの日松ばづえで

学校に行ったら、みんながすくっにかいよてきてくれて、「だいじょ  
うぶだよ、手伝うからね」といはい声をかけてくれたよね。  
今度はうれしくてあったかいなみだかたよ。不自由なこと

はたくさんあったけど、みんなのおかげで毎日楽しく元  
ばれました。みんな大好き。なにかあったら、今度  
は私がみんなのお手伝いをするからね。

これからもよろしくね。

かなでより

北海道  
東北  
ブロック

中学年の部

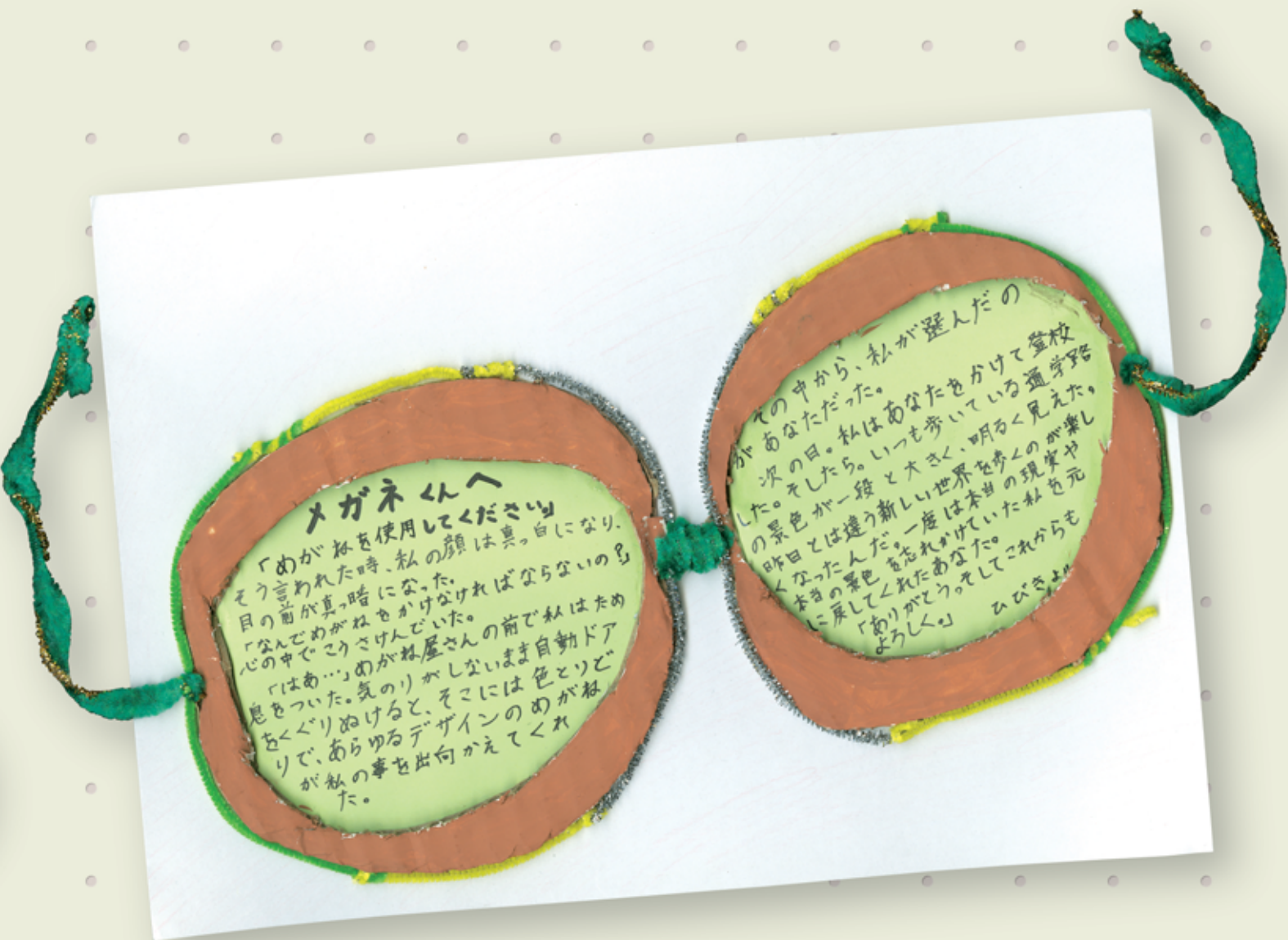
最優秀作品賞

鈴木 花奏さん(3年)  
仙台市立小松島小学校

審査員から



骨折をしたときの悲しい涙が、クラスメイトのやさしさに触れ  
あたたかい涙に変わったという表現がよい。虹を配したデザインも楽しい。




高学年の部

## 最優秀作品賞

ななみ ひびき  
**七見 響さん(6年)**  
 白河市立みさか小学校

審査員から ✨

手紙をメガネの形にするアイデアがユニーク。すてきなメガネと出会えたことで、新しい世界を発見できた喜びが文章から伝わってくる。



ハタチのおじさん  
おがうらにゆうかくしては"かりて、まい  
にちなっていたときおじさんにあいまし  
た。なっているほくにかえるのたまごをみせて  
くれてかえるのたまごをまいにちみては"んき  
にかうらいてねといってくれました。  
それから、まいにちかうらにいくときと、かえる  
ときもかえるのたまごをみていました。  
おじさんもまいにちみちんでてくれました。  
ほくは、かえるのおじさんとはふ"とにしました。  
でもかえるのおじさんは、みんなからハタチ  
おじさんとは"れていました。いつもハタチ  
してくれては"くは、うれしいです。かうらにいける  
うになりました。ハタチのおじさんありが"とう。  
ほくもいまは、ハタチのおじさんとは"ていまは。  
あめみやゆうせいより



関東  
1  
ブロック

低学年の部

最優秀作品賞

あめみや ゆうせい  
雨宮 佑青さん(1年)  
横浜市立和泉小学校

審査員から



通学路で見守りをしてくれているおじさんとの心の交流が丁寧に描かれている。  
思い出にちなんだおたまじゃくしの折り紙がかわいらしい。



おじいちゃん、おばあちゃんだんだん。」

私は夏休み、島根県のおきの島に行きました。  
人口二万四千人の小さな島で、ここへはおじいちゃんと、おばあちゃんが連れて行てくれました。

「だんだん」とはおきの方言で、「ありがとう」という意味です。

この小さな島には、たくさん「きせき」がありました。

八百才の杉の木や、色々な神様が住んでいる神社。

海の上に自然に出来た、ハート型や鉄ぼう型の岩。

エメラルドグリーンの海。夜光虫の光は宝石のようで、  
どれも見たことのない景色でした。

特に印象に残ったのは、ローソク島です。きれいな夕日を後ろにした、ローソク型の岩はその名の通り、ベース、テーパー、ロソクの様に見えるので、これが自然にできた物だとおどろきを感じました。

この夏はおじいちゃんとおばあちゃんのおかげで生まれて初めて、たくさん「きせき」を見せてもらいましたが、ありがとうございました。  
「きせき」の島、おきの島に連れて来てくれたおじいちゃん、おばあちゃん、本当に「だんだん」。



中学年の部

## 最優秀作品賞

さいとう なぎさ  
齋藤エミリー渚桜さん(4年)  
小田原市立久野小学校

審査員から \*

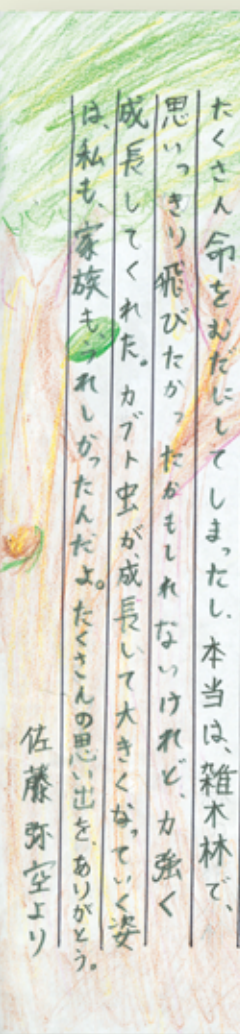
優れた文章力により、旅行中に見た奇跡の光景を読み手にありありとイメージさせる。  
幻想的な色合いで描かれたイラストもすばらしい。



小さな命たちへ  
天国で元気にしていただけますか。私がカブト虫達を飼う  
ようになったのは、おじいちゃんがかくれたから。その時は、  
飼うだけだったけど、四、六年生になったら、育てることに  
したんだ。

友達から、毎年よう虫をもらって飼っていると発見がたくさ  
んあり、我家のアイドルだったよ。よう虫の時、もりもソ  
土を食べて、土がすぐフンに変わっていた。土をかえるた  
め、ケースをひっくり返すと、米つぶのようだった卵から、  
いつのまにか手のひらサイズのよう虫になっていた。土をかえる  
ごとに、ひとまわり大きくなっていたので、いつもおどろかさ  
れていたよ。さ、なぎになる時期になると、毎年必ず一匹  
は、よく見える場所にさなぎをつくらせてくれたので、観察がとも  
しやすかったよ。でも、十五匹もさなぎになったのに、四匹し  
か成虫にならなかった。も、とちゃんとお世話すればよかった  
かな。来年は同じようにならないように、うばしなくちゃいけない  
と思ってるよ。成虫になり、せまいケースの中でもブンブン  
飛ぶ女は、元気をもらったよ。フヤフヤの体と、大きなつ  
その姿に私は自まんげだ。た、いつまでも見ていたが、た  
よ。オスとメスが交じり合っている所も分れたし、カブト虫  
が命のバトン<sup>①</sup>をわたす所が見れて、動物ってすごいな  
と思えたよ。成虫になってくれて、カブト虫の暮らしを、そ  
かせてくれて、ありがとう。

たくさん命をおたにしてみました。本当は、雑木林で、  
思いつきで飛びたかっただけかもしれないけれど、力強く  
成長してくれた。カブト虫が成長して大きくなると、姿  
は私も、家族も、れしかたんだよ。たくさん思い出を、ありがたう。



佐藤 弥空より



高学年の部

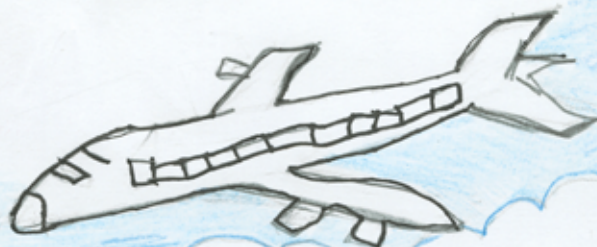
# 最優秀作品賞

さとう みそら  
**佐藤 弥空さん(6年)**  
相模原市立鶴の台小学校

審査員から

カブトムシの飼育の様子がとても丁寧に、具体的に描かれている。  
小さな命に対する感謝の気持ちがよく表現されている。





ドイツにいるパパへ

パパ元気ですか？パパがドイツに行ってから2ヵ月たつけど、ちゃんと自分でそうじやせんたくしてますか？少し心ばいしてます。

こちらはみんな元気です。わたしは夏休みに入って10メートル泳げるようになったし、りんたろうは自分の名前が書けるようになったよ。さらにはさい近「ニヤンニヤン」「ワンワン」って動物の名前を覚えてくれたんだよ。

パパが日本にいた時はいつでも話しかけできたけど、そんな当たり前のことのできない今は、1日1回電話でパパの顔を見て今日の出来事を聞いてもらうのが楽しみです。

この間空手の試合で負けちゃった時、「次はがんばれ！ふうかならできるぞ！！」ってはげましてくれてありがとう。落ちこんでたけどすごくゆうきづけられました。次は「勝ったよ！」ってほうこくできるようにがんばるね。

電話を通して家ぞくが1つにつながって、今日も1日みんな元気にすごせたことがすごく幸せだなって感じるよ。

パパ、大好き！

毎日電話をありがとう。

今夜もみんなまで待ってるからね！！

ふうかより



関東  
2  
ブロック

中学年の部

最優秀作品賞

いながき ふうか  
稲垣 楓佳さん(3年)  
浦安市立美浜北小学校

審査員から



父親がドイツに単身赴任したことにより、家族の絆がいつそう深まっていることが伝わってくる。ドイツと日本を分けて描いたイラストにも工夫を感じる。

田島隆文校長先生へ。

田島校長先生、ありがとうございます。

校長先生は、ぼくたちが困ったことがあると、助けてくれたり相談にのってくれます。

田島校長先生は、いつもニコニコして優しく、誰のなやみでも解決できる、スーパー校長先生です。

僕が一年生の時でした。

友達にいじめという意識はなかったのかもしれないけど、毎日のようにいやなことをされて、困っていました。

ある日、苦しくなった僕は校長先生に相談しました。

校長先生は、「それを『いじめ』というんだよ」と教えてくれました。

そのおかげで、担任の先生も注意して見て下さり、

いじめはなくなりました。

その後ずっと、僕をみつけると声をかけてくれたり、優しく接していただきました。

このことをきっかけにして、僕は空手を始めました。

五年生になった今、誰とでも仲良く、元気に過ごしています。

それどころか、誰かが友達をいじめたりしていると、

「やめろよ」と声を出して言えるようになりました。

心も体も強くなりました。

田島校長先生がいなかったら、空手をやっていなかったら、

言いたいことも言えない、心が弱いままの

僕だったかもしれません。

田島校長先生が退職してしまっ、とてもさびしいです。

校長先生が話してくれたことや、教えてくださったことを

支えに、僕はこれからもがんばります。

田島校長先生に会いたくあったら、

また行政センターに行きますね。

校長先生、本当にありがとうございます。

蕪川西小学校 伊藤 快

関東  
2  
ブロック

高学年の部

最優秀作品賞

伊藤 快さん(5年)

太田市立蕪川西小学校

審査員から



すばらしい校長先生との思い出が丁寧に綴られている。

「心も体も強くなりました」と自分の成長をまっすぐに報告する姿がとてもさわやか。

おじいちゃんへ。

おじいちゃんとお別れして、もう2年がたぬ。  
わたしは2年生になったよ。

いなに夕子と、今もおじいちゃんのいぢま  
るよ。そのいすに、お兄ちゃんや木たしがす  
わっているよ。いぢいちゃんといぢぢいといぢぢい  
くまて、いすをとりかえしにきたこと、思い出  
すよ。

セキセイインコのピーちゃんを、とりかごが壊れて  
見せてくれたこと、こうえんのゴキにえさをあげた  
つれて行ってもらったこと、おじいちゃんの作った  
竹とんぼが高く高くとんだこと、わたしのピアノ  
を壊して置いてくれたこと、何度も聞きたがったよ。  
おたけ海かかて、ふれんぶと見と手をたたいな  
るこんでいたこと。みんな、おぼえているよ。

おじいちゃんが入いんからすけにった日、お見  
いに行つて、おじいちゃんとお手をしたよ。「お前と  
お前はあたかいな」と言ったね。「また来るね」と  
手をふつてわかれたね。でも、そのま、  
おじいちゃんは天国へ行つちったね。

おじいちゃんのおそうしき。ないたかおほい  
げないと思つて、一生けんぬいカマン  
していたのに、さいごはなぢぢいぢぢいぢぢいぢぢい  
もうあえなけんたね。もう、あそべな  
けんたね。でも、ピアノが壊れはぢぢいぢぢい  
するから、ひくときは聞きにきてね。

おじいちゃんたくさんのおぼえ、おつかい  
つ。



心葉より



低学年の部

## 最優秀作品賞

かとう ことは  
**加藤 心葉さん(2年)**

諏訪市立中洲小学校

審査員から



大好きな祖父との思い出がきめ細かく描かれている。

祖父のお葬式で、「ガマンしていたのに、最後は泣いちゃったよ」という表現が心に残る。

# かじ川先生へ

「がんばればできる

この一年間、先生はぼくに、よくこのことばを言ってくださいました。ぼくは、いままでにかたなことをあきらめかけていました。でも、先生はこう言ってぼくにいろいろなことをちょうせんさせてくださいました。

たとえば、とめはね、はらいまで気をつけて字をきれいに書くことや、はっぱーまいーまいまでしっかり見て糸金をかくことでも、さいしょはめんどうだなと思ったこともあったけど、先生のたくさんのおうえんのあかげで少しずつ上手になってほかの人にもほめてもらえてとてもうれしかったです。

それから、ぼくの歩くれんしゅうにたくさんつきあってくれてありがとうございます。そのあかげでなかよしきゅうの校外学習では、ゆっくりだったけど、ほこうきでみんなと一っしょに六キロメートルも歩くことができました。その時のかんどうは一生あすれません。

この一年間でぼくは、先生から「がんばればできるようになる」というを学びました。歩くこともきっと「しよだ」と思います。今はまだほこうきでしか歩くことができないけど、これからもあきらめずに「がんばって歩けるようになりたい」です。

歩けるようになるまでの道のりは長いと思いますが、でも、先生に教えてもらった、「がんばればできる」ということをあきらめずにこれからも歩みつづけます。かじ川先生、本当にありがとうございます。

吉越 帆高

中部  
東海  
ブロック

中学年の部

## 最優秀作品賞

よしこし ほたか  
**吉越 帆高さん(3年)**  
富山市立堀川小学校

審査員から



先生への感謝が具体的なエピソードからよく伝わる。

「がんばればできる」という先生の教えを胸に歩いていくという誓いがたのしい。

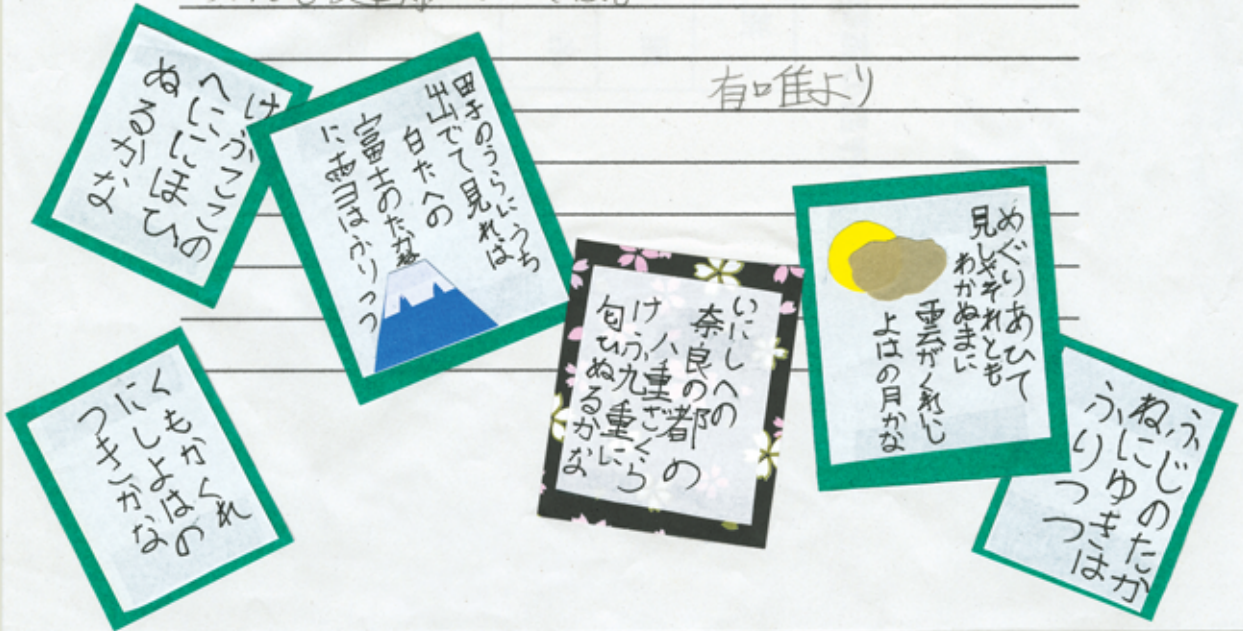
おはあちゃんへ

おはあちゃん、今年の夏は、京都に連れて行ってくれてありがとう。お正月に二人で百人一首かるたをした時に、私はおはあちゃんに負けて、とてもやさしかったよ。おはあちゃんだから、余裕で勝てると思っていたんだ。でも、おはあちゃんが毎朝、百人一首を勉強している事を知っているから、負けたのは私の努力不足だと思って、あれから一生懸命覚えたよ。

一緒に百人一首のゆかりの土地を見つたために、足が痛いのに京都旅行を言っ掛けて連れて行ってくれてありがとう。京都の夏は暑かったけど、音にタイムスリップしたみたいなきもちになったね。ここに私の好きな紫式部伊勢大輔がいたんだなあ。と思ったら、不思議な気分になったよ。嵐山から見えた小倉山もよかったね。京都旅行へ行行ってますます百人一首が大好きになったよ。

来年のお正月のかるた勝負は私が勝つからおはあちゃんも健康でいてね！

有唯より







おばあちゃんへ \*  
いつもおはなをプレゼント  
してくれてありがとう。\*

おばあちゃんのおはながあると  
いえのなかが、しあわせになります。  
おはなのせんせいのおばあちゃんは、  
まほうつかいみたいですよ。あまったおはなで  
つくりかたをおしえてくれたときは、とても  
うれしかったです。ながいきして、いつはいい  
おはなのことをおしえてね。おれいのけん  
がついてるよ。\* みやじま かほ \*

おてったい  
かい  
けん

そうじ  
かい  
けん

みずやり  
かい  
けん



## おじいちゃんの手

大きくなって、ぶあつくなって、プニプニしたおじいちゃんの手が私は大好きです。実は、おじいちゃんの手には、ふしぎな力があります。だって、お花や植え木を育てる事が上手だし、犬小屋や、竹馬も、と言う間に作っちゃいます。そして何よりも、おいしい食べ物をえらぶ事がとっても上手です。おじいちゃんが、私のためにえらんでくれたあまーいくだ物を一緒に食べる事がいつも楽しみでした。

でも…とっぜん、去年の10月にのうこうそくてたおれて急きゅう車で運ばれたびゅういんの先生に、「おそらく、ねたさりの生活になります。」としんだんされました。

左がわの体が全然動かなくなってしまって、すごく、すごくかなしかったです。夜中におばあちゃんから連らくをもらって、大急ぎでびゅういんへかけつけた時、私の大好きないつものおじいちゃんとはちがう知らない人に見えて、8才の私でも(これは、大へんなびゅう気なんだ。ねたさりって?おじいちゃんはどうなるんだらう?)すごく不安な気持ちからかなしくていっぱい泣いちゃったけれど、おじいちゃんば「何くそ! 医者ば動かなくて言ったけれどぜったい歩いて家に帰ろぞ」強く右手で左がわをマッサージしたり、きんカトレーニングガリハビリにとりくんていたら、本当に左がわの顔と手足が少しずつ動き出して、ねたさりとしんだんしたお医者さんたちがびっくりして、学会で発表したくらいおしゃべりが上手になって、自分のかだけで立ったり、歩いたり、一人でごはんが食べられるようになりました。右手で左がわをマッサージするすがたを見た時や、ぱりおじいちゃんの手はまほうの手だ。とつくづく感心しました。

今ではそのびゅういんをたいいんしてリハビリしせつでお家へ帰るための練習をかいはっています。私は7才のおじいちゃんからあきらめない強い心を教わりました。

ありがとう♡ 2019ほどやせてしまったおじいちゃんの手は、もう、プニプニじゃないけれど大きくなってあたたかい手です。

これからも、ずっとおじいちゃんの手をつないで歩きたいです。

森川 末唯

関西

ブロック

中学年の部

最優秀作品賞

もりかわ まゆ  
森川 末唯さん(3年)  
大阪市立南田辺小学校

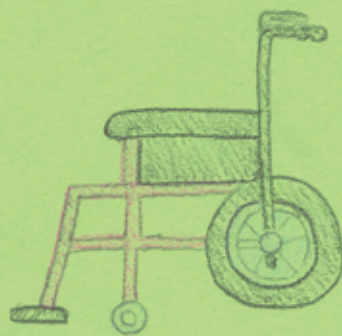
審査員から



祖父の「手」を主題にし、祖父が元気なころ、病に倒れたころ、そして再びがんばっている現在を見事に描いている。つないだ手と手のデザインもよい。

車いすへ

保育園から、6年生までいっしょに過ごしているなんて長く使っていたんだなって思ったよ!! 1年生のころは、自分だけちがうのはいやだなんて思っていたけど、今ではみんなも気にしてないし、私も気にしてないから、みんな車いすをおしてくれるし、手伝ってくれて、いっしょに気持ちはないな。って考えているおもしろいよ!! 車いすに乗っていていろんな出来事があったなとも思ったよ。1年生の初めての遠足で楽しかったけど、とっぜん雨がふってきてびしょびしょになって、車いすまでぬれて、次の日、学校に行けなかったこともあったな(笑) 4年生ではおいてもらってこけたし、でも、きくと、友達はおぼえてないと思うけど。あの時、車いすも自分も何もなくてよかったけどね!! 6年生では、ブレーキがこわれて、ビツブリしたけど、車いすに乗ってなかったら、友達と出かけたりにすることはできないから、私には、なくてはならないと気づいたよ!! 自分も大きくなっているから、車いすはかえていけるけど、卒業して中学になっても、ちがう友達といっしょに楽しい思い出をつくろうね。今までありがとう。そして明日からまた、よろしくね!!



関西  
ブロック

高学年の部

最優秀作品賞

たけうち みき  
武内 美樹さん(6年)  
京都市立太秦小学校

審査員から



保育園のときから使っている車いすへの愛情が、いきいきとした言葉で綴られている。何事にも前向きに取り組む姿勢が文章からうかがえる。

先生へ  
 いつも木のくお  
 もろ(ピアノ)をおしえてくれてありがとうです  
 ますわたしは先生のおかげでピアノが木のし  
 くて大好きです。うまくひけないときたべもの  
 ことがおもしろいことでおしえてくれます。  
 イメージがやすしてくれたりリズムやひき  
 方もわかりやすくておもしろいです。ピアノ  
 はひとときのきもちがあらわれます。先生に  
 はわかってしまうからこれから音に思いを  
 こめてすてきなえんそうかできるよにすて  
 きなものにふれたりそうそうできるかをつけ  
 たいです。ピアノをれんしゅうしてもうまくなでピアノ  
 の先生になりたいです。そしてピアノが木のし  
 くなるようにいろいろ考  
 えて教えたいです。これが先  
 よろしくおねがいます。  
 まなより



低学年の部

## 最優秀作品賞

みのうら まな  
**箕浦 真奈さん(2年)**  
 岡山市立浦安小学校

審査員から



ピアノをかたどった手紙というアイデアがおもしろい。  
 先生との練習の楽しさやピアノへの思いを素直な言葉で表現しているところがよい。

お母さんへ

お母さんと、お父さんがりごんしてもう一年になるね。お父さんと弟のたいじゅと、わたし、しよにいたか。たけど、お母さんは、わたしのために毎日仕事をして、わたしが続けたら、おねがひしたスイミングのおくりむかえ、大会のおうえんを、お父さんの分までしてくれている事、とってもうれしければじめは、弟とはなれてさみしくてなればかりいて、ごまらせてごめんなさい。わたし

がねた後や、気づかなり所でないたのを本当は知ってるよ。お母さんもさみしかたんだね。わたしは、弟やお父さんはいないけど、おばあちゃん、おじいちゃん、おばあちゃんたちがいつもしよにいてくれるから、さみしくなりよ。お母さんが、わたしのためにがんばってくれているから、わたしもお母さんのために、水泳ががんばって一番とるか、お母さん、ありがとう。お母さん、いつもがんばってくれてありがとう。大ききであ

20 x 20



中学年の部

# 最優秀作品賞

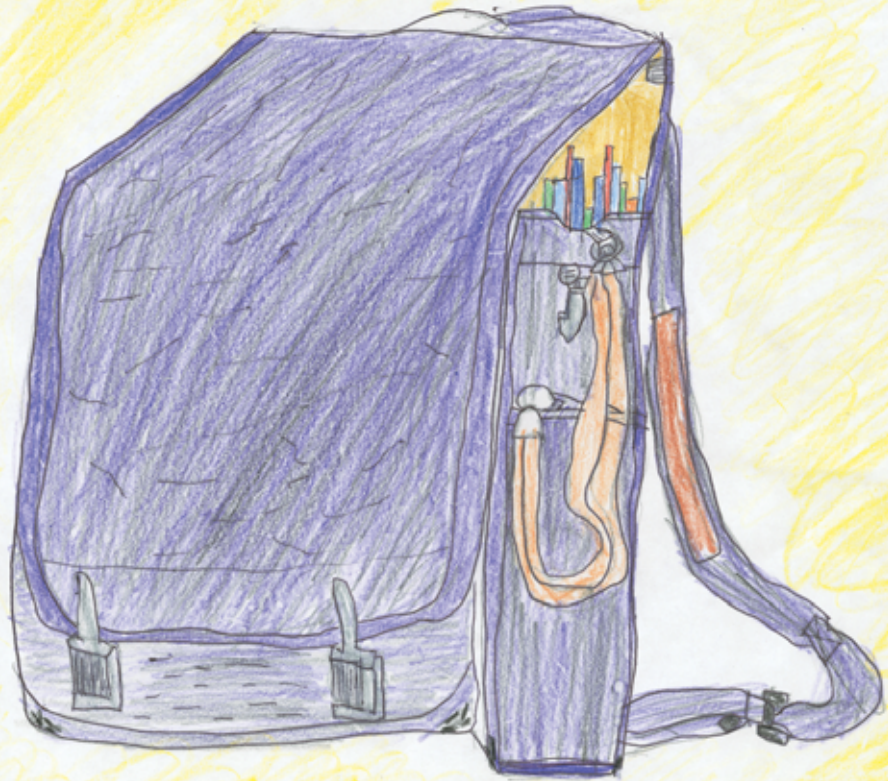
きむら さあや  
**木村 倅彩さん(3年)**  
 新居浜市立角野小学校

審査員から \*

一緒に暮らす母への感謝や思いやりが文面からあふれている。  
 「気づかないところで泣いていたのを本当は知ってるよ」という言葉が胸をうつ。

ランドセルへ

小学1年生のころは、ピカピカだったほくの友達。  
今は、6年生だから、とても古くなったよ。  
毎日、教科書やノートをバツバンに詰め込んで、  
かっくと肩がちぎれそうなくらい重いよ。



今まで6年間、約1300日も一緒だったね。  
ランドセルの角のほつれが学校生活の毎日の  
物語、してくれているよ。  
うれしい時、悲しい時、楽しい時、怒っている時、  
みんな大切な宝物。それが全てつまっているランドセル。  
卒業までのあと半年、がんばって一緒に登校しようね。  
ランドセルは、古くてもいつまでも輝きを放っているよ。  
ありがとう。



高学年の部

最優秀作品賞

おもて たいし  
表 泰志さん(6年)  
徳島文理小学校

審査員から \*

6年間使いつづけたランドセルへの手紙。学校生活のパートナーとして  
思い出を共有してきたランドセルへの思いが表現力豊かに綴られている。

みぎとくくるみの木のき。みがいまよ

メッやすみくまもとでくるみどうきんが  
ありましたとつえんじたちがいちねんにいっか  
いよつちえんにあつまるひです。ぐき  
づあり、おちまり、しん。いろいろと  
たのしいことをしました。

ひさしづりのよつちえんは、あまがわって  
いませんでした。でも、つもあつて、ぼ  
くたちをみてくれて、いたくるみのき  
が、あせん。えんちようせんせ、  
くるみは、りっぱなきだ。あ

といて、たはおきな、あきな、きです。  
くまもと、じんのときにも、ぼくたちは、  
くるみのきと、ぐんぼくのりつえん、  
くるみのき、は、たいぶ、でね。もとが、うま、  
しま、た、ん、だ、と。

お、ぐ、あ、い、ん、ぐ、お、し、え、ん、で、く、れ、ま、し、た、の。  
これ、き、い、は、ぐ、な、い、く、な、り、ま、し、た、  
ぼく、た、ち、ぐ、あ、い、ん、で、い、る、と、き、は、く、る、み、の、き、  
が、べ、い、な、っ、て、く、れ、ま、し、た、み、が、み、の、つ、た、ら、い、

ひろって、もって、かえって、い、ま、し、た、  
えん、し、き、の、ひ、は、ば、す、の、せ、ん、せ、い、  
くる、み、の、み、で、つ、く、つ、た、キ、ー、ホ、ル、ダ、ー、を、  
く、れ、ま、し、た、さ、い、ら、き、ら、う、む、ぐ、で、い、て、ぼ、く、  
は、と、こ、づ、れ、し、が、つ、た、で、す。  
も、う、た、お、れ、て、し、ま、つ、た、け、ど、ぼ、く、は、く、る、  
み、の、き、に、い、い、た、い、で、す。

「かさしく、みまも、て、く、れ、て、あ、い、ど、こ、も、こ、れ、  
が、く、ま、し、く、る、み、の、さ、ち、を、よ、つ、と、あ、す、れ、  
な、い、よ、ぼ、く、も、し、よ、う、が、つ、こ、う、で、ぐ、ん、は、  
る、れ、の、さ、い、ご、に、キ、ー、ホ、ル、ダ、ー、た、い、せ、つ、  
に、す、る、れ、の。」



低学年の部

# 最優秀作品賞

みやじ まよ  
**宮路 真誉さん(1年)**  
鹿児島市立清水小学校

審査員から

幼稚園生活を見守ってくれたくるみの木への感謝。「熊本地震のときにも、ぼくたちはくるみの木とがんばって乗り越えました」という文章が心に響く。



おじいちゃんへ

夏休み、川につれていってくれてありがとうございます。いろんな生き物がたくさんとれてぼくはすごくうれしかったです。

川の中にあみをつきさして、足でどろどろとぎあと入れましたね。ぼくは「こんなので、本当に生き物がとれるのかなあ」と思っていたけど、あみをあげたら、大きなカニやザリガニがわしゃわしゃして、「うわあ！」とさけんじゃいました。おじいちゃんが「おお、すごいね。」と言ってくれたので、ぼくはもっとうれしくなったよ。小さな魚やタニシ、かわいいエビもとれて、バケツの中は川の生き物のおまつりみたいでした。

でも、うなぎににげられてしまったのはざんねんでしたね。あみの中に入っていたときは、本当にびっくりしました。ぼくは生きている本物のうなぎを見たのははじめてだったからです。よろよろしていてかわいかったです。でも、あみからバケツの中に入れようとしたらぬるんとにげちゃったね。「あああ」と思ったけど、来年の夏、またおじいちゃんといっしょにつかまえにいきたいな。きっと大きくなってるよね。そしたら食べられるかな。ぼくは今からわくわくします。おじいちゃんまた2人で川に行きましょうね。

りょうすけより



九州  
沖縄  
ブロック

中学年の部

最優秀作品賞

さげど りょうすけ  
下戸 良佑さん(3年)  
湧水町立轟小学校

審査員から



祖父との思い出がはつらつとした文章とイラストで表現されている。  
「バケツの中は川の生き物のおまつりみたい」という表現がすばらしい。







# 審査員特別賞 関東1ブロック

はあは リンゴありがとう

1粒も2粒も 食べた おいしいのうけ はあは、げつようがともくようがにきてく 果てありかどう。まあちんが、まだりかて くてつたがたいハムたが、おてつたのう くてあるんだと。

はあは、おにいちゃんたが、かまんとす ことおあひりど、おにいちゃんたが、た くおもうんだ。まあちんが、まらると、 はあはのおうち、なみんちかおてまりてき

わたしのしがたよ。てのせのくまで、はあ はどういながらようちえんにい。たり、は あはのおやん、とうきまかたが、わたしのほく だけたがらぬ。

まあちんが、おあひり、てち、ほくのう りにあててきてぬ。ほくがそ、ておあひり ない、から、ことほくが、はあはのうちの おてつたに、いってあげるからぬ。



1

プロ野球チームの みなさんへ

いつもいい試合をしてくれ ありがとうございます。プロ野球は、とても 面白いです。毎週、テレビで観ることができ、 選手たちの活躍が大好きです。特に、ピッチャーの 投げ方やバッターの打ち方、守備の動きなど、 いろいろな技が面白いです。プロ野球選手は、 毎日練習を頑張っていて、とても尊敬します。 応援しています。



3年1組のみなさんへ

2

3年1組のみんなへ

月	日	内容
1		みんないっしょに勉強がんばりました。
2		お月見の日、みんなで月見酒を飲んだ。
3		運動会がありました。みんなよく頑張りました。
4		秋の収穫祭がありました。みんなおいしく食べました。
5		クリスマスパーティーがありました。みんな楽しかったです。
6		お正月の飾りつけをしました。みんなよくがんばりました。

みんないっしょに勉強がんばりました。お月見の日、みんなで月見酒を飲んだ。運動会がありました。みんなよく頑張りました。秋の収穫祭がありました。みんなおいしく食べました。クリスマスパーティーがありました。みんな楽しかったです。お正月の飾りつけをしました。みんなよくがんばりました。

3年1組のみんなへ ありがとう



3

いつもありがとう

おいしい野菜を ありがとう

おいしい野菜を、いつもありがとうございます。毎日、新鮮な野菜が届きます。とてもおいしくて、栄養もたくさんあります。ありがとうございます。


4

お月見の日

お月見の日、みんなで月見酒を飲んだ。みんなよく頑張りました。

お正月の飾りつけ

お正月の飾りつけをしました。みんなよくがんばりました。



5

1 **北尾 真心介さん**(1年)  
横浜市立義務教育学校 轟が丘学園小学校

2 **古賀 優之さん**(3年)  
平塚市立なでしこ小学校

3 **小木 結衣花さん**(3年)  
相模原市立中央小学校

4 **山本 知佳さん**(5年)  
横浜市立 川和東小学校

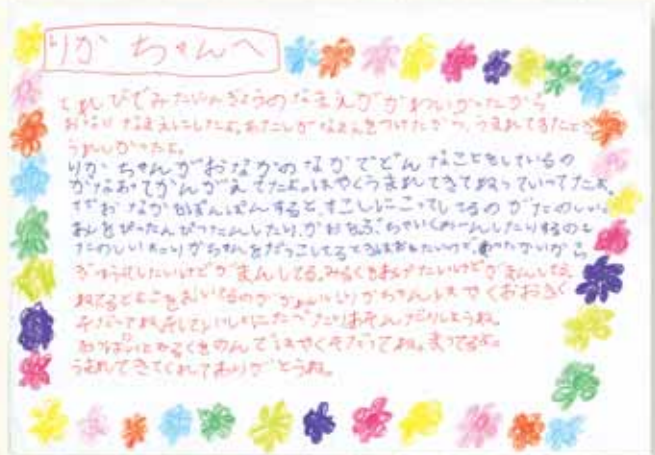
5 **岡崎 咲里さん**(6年)  
相模原市立谷口台小学校











1 山中 優輝さん(1年)  
佐世保市立大野小学校

2 人見 俐音さん(1年)  
鳥栖市立弥生が丘小学校

3 溝江 桃果さん(3年)  
鹿島市立古枝小学校

4 川崎 瑛太さん(4年)  
鹿児島市立星峯西小学校

5 山崎 真愛奈さん(5年)  
北九州市立塔野小学校



北海道  
東北  
ブロック

青森県 南部町立  
福田小学校

校長先生のコメント

本校では「やさしく思いやる子」を目指し、子どもたちが互いに感謝する心の育成のために「ありがとうの木」という取り組みをしています。そんな感謝の気持ちを学校の外の身近な人へも向けてほしいと思い、以前よりこのコンテストを活用させていただいていました。今回の受賞は子どもたちにとっても励みであり、引き続きやさしさにあふれる学校づくりに励んでいきたいと思えます。

関東  
1  
ブロック

東京都 足立区立  
弥生小学校

校長先生のコメント

本校では相手より先に挨拶する「挨拶名人」を目標としており、40%の児童が「挨拶名人」を達成しています。今回のコンテストでは、175名の児童が代表として「ありがとう名人」となり、受賞を牽引してくれました。さらに名人を広げていきます。

関東  
2  
ブロック

埼玉県 上尾市立  
原市小学校

校長先生のコメント

子どもたちが綴った「ありがとうの手紙」には家族や友達はもちろん、ペットや持ち物にまで「ありがとうの言葉が並んでいました。この機会があったからこそ目を向けられることでできた素直な心の言葉だったと思います。個人の賞ではなく、学校が受賞したことがなによりうれしいことです。子どもたちの素直な心を開く機会をいただいた関係諸氏の皆様に感謝申し上げます。

中部  
東海  
ブロック

愛知県 碧南市立  
西端小学校

校長先生のコメント

本校は「笑顔いっぱい 西端小学校」を合言葉に明るく挨拶がいっぱいの学校、ありがとうの気持ちをもち、思いやりの心がいっぱいの学校を目指しています。今回の受賞を励みに、「ありがとう」と言える西っ子、「ありがとう」と言われる西っ子がさらに増え、笑顔がいっぱいの学校にしたいと思えます。

関西  
ブロック

大阪府 大阪市立  
関目東小学校

校長先生のコメント

この度は学校・団体賞受賞、誠にありがとうございます。本校は「道徳教育」に重きを置いており、この手紙を書くことで、一層児童の意識が深まったと思っております。私も子どもたちからの学びに「ありがとう!」であります。

中国  
四国  
ブロック

徳島県  
徳島文理小学校

校長先生のコメント

人が何気なく生活していることの多くが、実はいろいろな人・モノ・コトのお陰であります。そのことに気づき、「ありがとう」という感謝の心をもつ機会が得られ、名誉ある賞を授与していただき、感謝いたします。学校中、この心を広げてまいります。

九州  
沖縄  
ブロック

熊本県 熊本市立  
杉上小学校

校長先生のコメント

昨年に引き続き、「ありがとうの手紙コンテスト」で学校・団体賞をいただき、心から感激しております。杉上小学校は「『ありがとう』の音が響く学校づくり」を目標に掲げ、教師、子ども、保護者をつなぐ教育を目指し、日々の教育活動を行っております。この受賞を糧に、今後ともさらなる高みを目指して日々前進していきます。本当にありがとうございます。



# 学校・団体賞

応募していただいた全1,369校・団体から選ばれた7校・団体です。受賞した学校から校長先生のコメントをいただきました。





## ファミリーマート 夢の掛け橋募金

1993年にコンビニエンスストアとして初めて店頭で募金箱を設置。2006年からは、世界の子どもたちと地球の未来のために活動を行うNPO/NGOに寄付を行い、「夢の掛け橋募金」として各地で次世代育成プログラムの提供や子ども支援事業に取り組んでいます。

### 寄付先

- 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- 特定非営利活動法人 国連WFP協会
- 公益社団法人 国土緑化推進機構
- TOMODACHI イニシアチブ

# ファミリーマートは「ありがとうの手紙コンテスト」をはじめとして地域社会とともに次世代育成に取り組めます!

## 夢の課外授業 by ファミリーマート夢の掛け橋募金

震災の影響を受けた子どもたちに「夢」を持つことの大切さを、「心」と「体」の両面から学んでほしいとの思いから、「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を活用し、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと「夢の課外授業」を協働して実施しています。水内 猛さんが講師となり、児童とみんなでボールを使ったトレーニングや「夢」を叶えるためのヒントを学びました。



## グローバル子ども募金・ グローバル防災(災害リスク軽減)教育

ファミリーマートが outlet している国・地域の子どもたちを災害から守ることを目的とした「災害リスク軽減教育」を2013年度より国際NGOセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)と協働で取り組んでいます。この活動では子どもたちの防災意識や災害リスクへの適応能力を向上させることを目的に、各国のニーズに合わせた事業を行っています。

※この活動は店頭での使途限定募金「グローバル子ども募金」により、SCJと協働で実施しています。



## 森の教室

次世代を担う子どもたちに、日本人が森林と深く関わりながら生活してきたことや森林がもつさまざまな役割・大切さを伝え教える「森の教室」。ファミリーマートの環境マスコット・エコロンと一緒に森のお話や体操を交えながら楽しく学ぶプログラムです。公益社団法人 国土緑化推進機構とともに全国の幼稚園・保育園を巡回し、今年5月には参加園児が1万5千人を超えました。このプログラムでは、子どもたちがどんぐりを植え、園で大切に育てた後に植林を実施します。この活動をきっかけに、森を守り、育てる活動が各地に広がっています。



## ファミマものづくりアカデミー

生徒たちが地元の食材を生かした商品を開発し、地域の特産品として販売する「ファミマものづくりアカデミー」。企画立案や商品開発に携わり、食材を通じて地元愛を育むとともに、商品開発のプロセスを体験します。和歌山大学教育学部附属小学校のこどもたちは、和歌山県が育てあげたご当地スイーツ「わかやまポンチ」を普及させる「わかやまポンチプロジェクト」に2010年6月から取り組んでいます。コンビニスイーツとして「わかやまポンチ」を企画、また、こどもたち自身が「こども店長」となり、商品化された「わかやまポンチ」を販売する仕事も体験します。



## 出前授業



社員が小・中・高等学校へ出向き、それぞれの職能を活かして「ビジネスモデル」や「環境への取り組み」について講義を行う「出前授業」を実施しています。総合的な学習での「課題解決授業」、「販売接客授業」など、学校からの要請にもとづいて実施しています。

## ベルマーク運動への参加

2008年4月よりベルマーク運動に協賛し、全国で発売しているおむすび全品にベルマークを付けて販売しています。また、店頭のおむすび売り場に回収BOXを設置して回収にも取り組んでいます。店頭、本社、食品工場に寄せられたベルマークは被災地支援として東北や熊本の小学校にお届けしています。



## ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト

2009年にスタートした「ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト」には、これまで延べ288,162通の「ありがとう」が寄せられました。本コンテストの受賞作品5作品が2社の道徳の教科書に掲載されるなど、このコンテストを通じて多くの方々に「ありがとう」が伝えられ、広がっています。



## こども店長

2009年より、コンビニエンスストアのお仕事体験にチャレンジする「こども店長」を各店頭で実施しています。この体験では、ファミリーマートのユニフォームに身を包んだかわいい「こども店長」が、商品の並べ方やレジでのお客さま対応などをスタッフから教わり、実際のお店で仕事を体験します。参加したこどもたちからは「すこし緊張したけれど、たくさん買ってもらえてすごく楽しかった!」、保護者の方からは「働くことの楽しさと大変さをしっかり学んでもらえた」と好評をいただいています。



## セーフティステーション



地域社会の安全・安心を提供する拠点として、こどもたちを見守るお手伝いをしています。



ありがとう

株式会社ファミリーマート  
<http://www.family.co.jp>

ファミマ ありがとう

検索

